

# 舟山

発行者  
幸田町立南部中学校  
志賀 浩美  
第106号

## 二学期がスタート

### しました

今年の八月は、例年とはずいぶん違ったものになりました。運動部にとって集大成となる夏の大会が全て中止となり、辛い思いをした生徒も多くいました。幸い、町内三中学校で、交流戦という形をとって活動を締めくくることができました。また、弦楽部も町民会館を使い、三中学校合同演奏会を開きました。

二学期は多くの学校行事や活動を予定しています。毎年のようなやり方で実施できない行事もありますが、全校が一つになって、学校生活を盛り上げていきたいと思えます。



体育大会での選手宣誓

### 絆が生まれたドーム作り

一年 竹内 遥馬

積み木を使うのはずいぶん久しぶりで、たくさんの積み木を見てなつかしさを感しました。数が二万個だったと聞いてすごい量だなと思いました。

はじめに名古屋ドームみたいなものをみんなで作りました。人数がいれば自分の身長より高いものができる、こんな大きなものが短時間でできる、すごいと思いました。

ドームづくりが一番怖かったのは、屋根です。身長より高いところに積み木を置かなければならないから、倒しそうですごく怖かったです。でも、その分、無事に完成したときの達成感はずいぶん、仲間との絆が深まりました。



積み木を使ったドーム作り

### 職場体験で学んだこと

二年 小川 勝久

八月末に職場体験に三日間行きました。僕は幸田町消防署で体験しました。消防署では消火体験、放水体験、ロープ渡り、救命講習、救急車試乗訓練など多くの体験をやらせてもらいました。

それらの体験の中で学んだことは、働く上でチームワークが大事ということと、最後まで仕事をやり切る必要があるということ。消防署の仕事は命に関わることばかりだから、特に仲間と声をかけ合って、周りを確認し合うことが大事です。また、どんな仕事でも、適切にやっつてはいけないということも学びました。これらのことを日常生活や野球部の練習につなげ、全力で取り組んでいきます。そして消防署の方のようになりたいです。



幸田町消防署で放水を体験する生徒

### 大切な宝物

三年 大竹 光輔

僕たち三年生はコロナの影響で様々な試合や大会がなくなり、悔しい思いをした人がいます。最後に力を発揮する場を失ったからです。

新チームになり、県大会出場を目標に必死に練習をしてきました。最初は仲間に思いを上手に伝えられずチームが一つになることができませんでした。しかし、ミーティングを開き、本音でぶつかり合うことができ、僕たちは結束を強めることができました。辛い練習も仲間がいたから頑張れました。

八日の交流戦は今まで勝てなかった幸田中にも勝つことができました。仲間、家族、コーチなどに支えられての勝利でした。部活動は自分にとって、大切な宝物になりました。



幸田町三中学校交流戦



ステージから見る景色

三年 松岡 帆加

弦楽部は、先日行われた合同演奏会に出演しました。私達は「心を一つに」部員全員が同じ気持ちで臨みました。先生方をはじめ、たくさんの方々の協力で開催できたことに感謝をしています。

コンクールの曲とポップス三曲、久しぶりのホールでの演奏に、胸が高鳴りました。薄暗いステージに光が当たり、先生の指揮から曲が始まっていく瞬間が私は大好きです。五パートが一つの曲をつくり出していきます。中学校三年間でいくつもの曲を弾いてきました。どの曲にも思い出があります。一つ一つの演奏会を終え、大きな達成感と少しの寂しさを感じます。三年生にとって最後の演奏である南中祭に向けて全力で練習に励んできます。



幸田町中学校合同演奏会

最善の判断ができるように

一年 内藤 心結

九月一日に行われた「減災講演会」では、防災テラスの伊野先生、高橋先生、杉浦先生が来てくださり、クロスロードゲームをしました。これは、設定された避難所の状況下でどう動くべきかをYESかNOで答えるものです。問題としては「ペットは避難所に連れていくか」というような問題がいくつもあり、どれもその場に立たなければわからないものでした。

ゲームでは班に分かれて考えましたが、実際はその場所にいる自分の判断で決める必要があります。だからこそ、災害のことや行動について正しい知識を身に付けて、その場やその時に合わせて最善の判断ができるようになりたいと思いました。これからも減災について知識を増やし、地域にも発信したいです。



減災講演会で発言する生徒

体育大会を終えて

一年 古田明香音

煌合戦はもう一瞬の出来事でした。これまで練習をたくさん重ねてきたので、自信をもって踊れました。手作りの黄色のリストバンドで、みんながつながって、一つになった気がしました。だから安心して踊れました。不安もあつたけど、一人一人が「大丈夫。」と信じ合っていたらと思います。この煌合戦は、私の中で残り続けると思っています。全員リレーでは、みんなが一生懸命に走りまわりました。あきらめずにバトンをつなぎ、勝つことができました。代表リレーも大盛り上がりで、夢中で応援していました。

これまで、運動の大会を楽しんでいたことはありませんでした。こんなに楽しいと思えたのは初めてです。これは、自分たちで考えてやり切ったからだと思います。これからも、自分たちで考えて動くことを大切にしていきたいです。



全員リレーで力走する生徒

輝いた煌合戦

三年 墨江 葵

煌合戦では優勝することができました。私はダンスが苦手で、正直に言うとうまではない人の影に隠れるようにしていました。でも、今年は、リーダーをはじめとしたクラスのみんなが丁寧に教えてくれたり、「かわいい」と言ってくれたりして、自信をもって踊ることができました。表彰でも、リーダーたちの計らいで私が賞状をもらいに行くことになりました。私が賞状をもらうなんて夢にも思っていませんでした。みんなと頑張ってきて本当に良かったです。みんなを輝かせようと引っぱり上げてくれたリーダーたちに、感謝でいっぱいです。

一組は、仲間を大切に思う人たちがかりです。これからもこの仲間たちと過ごせる時間を大切にして、みんなと輝いていきたいです。



校内体育大会で行われた煌合戦  
最後の決めポーズ